



## 子どもも教職員も自己実現をはかる学校づくり

校長 石田 和義

令和7年4月28日に第1回学校運営協議会を開催しました。その際、出席していただいた委員の皆様に、「子どもも教職員も自己実現をはかる学校づくり」に関わって令和7年度の学校運営の基本方針を説明し、承認していただきました。下記に紹介します。

### 1 学校経営の軸

教育目標	自主創造 くらしをみつめ 追究する子ども
実践主標	個が育つ教育経営
経営方針	○望みを高くいただき、自分のくらしをつくる子どもを育てます ○子どもも、教職員も自分のやりたいことを進んで行うことができる学校をつくります ○子どもの安心・安全が守られる学校をつくります ○子ども、保護者、地域から信頼される教職員であり続けます

一人ひとりの違いを大切にし、互いに認め、高め合う学級を基盤に、「朝活動」「くらしの時間」「授業」「自主活動」を充実していきます。



### 2 教育環境、活動の充実

どろんこ広場の新設による体験活動の充実とともに、令和7年1月に有成会より寄贈していただいた大型モニターの有効活用を図っていきます。

### 3 現代的課題への対応

委員会活動、堀川チャレンジ活動を月曜日から木曜日へ変更することで、子どもの主体性、自己肯定感の醸成に努めています。また、一人1台端末の効果的な活用を通して、子どもの情報活用能力を育成していきます。

進んでうさぎの世話をする子ども

多様性を認め合う学級づくりを通して、「いじめをしない、させない」ための、未然防止教育の充実を図ります。また、個々の学びを保障する授業の工夫、安心して楽しく過ごせる雰囲気になるような居場所づくり（教育相談室の活用等）を通して、子どもが自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することを目指します。

### 4 子どもの成長を支える教師の資質向上

全ての子どもの学びの定着と質の向上に努めるとともに、子ども、保護者、地域の理解のもと、子どもと向き合う時間、授業改善に取り組むことができる時間を確保することで、教師としての資質、やりがいを高めていきます。

### 5 学校と地域、保護者との連携

学校が抱える課題を地域、保護者と共有し、積極的に情報を発信し、対話を積み重ねながら、「地域とともに、子どもにとっても、教職員にとっても魅力ある学校」づくりを推進していきます。

学校運営協議会では、委員の皆様から本校の学校運営に対してさまざまな貴重なご意見をいただきました。今後の学校運営の改善にいかしていきたいと考えております。地域、保護者の皆様には、これからも連携・協働を通して、「さいわい多くゆめ多い地域とともにある堀川小学校」をつくっていきたいと思いますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 5月の行事予定

- 1日（木）委員会活動  
2日（金）自転車交通安全教室（4年）  
3日（土）憲法記念日  
4日（日）みどりの日  
5日（月）こどもの日  
6日（火）振替休日  
15日（木）堀川チャレンジ活動  
避難訓練 安全点検  
16日（金）研修会（通常日課5限）  
22日（木）委員会活動  
24日（土）資源回収  
20日（月）委員会活動  
30日（金）第96回教育研究実践発表会  
31日（土）第96回教育研究実践発表会



※状況によっては、変更する場合もあります。

## 6月の行事予定

- 2日（月）市小教研（午後短縮）  
3日（火）市小教研（事務部会）  
5日（木）堀川チャレンジ活動③  
眼科検診（全校）  
小中連携あいさつ運動  
（～6日）  
6日（金）集金振替日  
プール清掃（5年）  
内科検診（2年）  
9日（月）教育相談①（午後短縮）  
10日（火）内科検診（5年）  
教育相談②（午後短縮）  
11日（水）内科検診（なかよし級・1年）  
12日（木）堀川チャレンジ活動④  
耳鼻科検診（なかよし級・1・3・5年）  
13日（金）学習参観（5限）  
避難訓練（引き渡し）安全点検  
16日（月）教育相談③（午後短縮）  
17日（火）教育相談④（午後短縮）内科検診（4年）  
19日（木）委員会活動④  
第4学年集団宿泊学習（～20日（金））  
23日（月）プール開き たしかめ週間（～27日（金））  
26日（木）第2回学校運営協議会



### 子どもを支える「くらしの時間」

1年1組 大津賀 悟史

1年生は入学してから1か月が過ぎました。小学校生活にも少しづつ慣れ、いろいろなことにチャレンジしながら、できることを増やし、学校生活での足場を作ろうとしています。

ある日のくらしの時間、Aさんは、そっと手を挙げ、「今日、ママの手術が成功するか心配」と語り始めました。実はこの日、病気を抱えるAさんのお母さんの手術日で、Aさんはそんなお母さんが心に引っかかり、精神的に不安定な状態でした。朝から元気のない様子だったAさんは、くらしの時間で、思い立ったかのようにこの話をしたのでした。お母さんの様子や自分の気持ちを紡いでいくAさんの語りからは、自分のことを仲間に聞いてもらうことで、少しでも不安を減らしたいという思いとともに、この現状となんとか向き合い、受け入れようとする強い意志も感じられました。聞いていた子どもたちは驚き、「大丈夫なの」「どんな病気なの」「成功してほしいね」「僕のお母さんも入院したことあるよ」など、それぞれがAさんの思いに心を寄せて励ます、温かい声をかけていました。そして、くらしの時間の終末にBさんは「Aさんのお母さんの手術が成功して元気になるように応援したいな」とみんなに伝えました。そんな仲間の声を聞いたことで、朝から緊張感のあったAさんの表情は和らぎ、落ち着いた様子になって席に着きました。

そして、翌日のくらしの時間、だれよりも早く手を挙げたAさんは「ママの手術が成功した。悪いところ全部取れたよ」と語りました。学級の子どもたちは、「よかったです」「おめでとう」と声をかけるとともに、「これからはどうなるの」や「すぐにお家に帰れるの」といった今後のことを心配する質問が挙がりました。Aさんの返答を聞いて、Cさんは「やっぱりかわいそう」とAさんの気持ちに寄り添い、Dさんは自分の家庭の状況と重ね、「私も月曜日からパパがいなくなるのが寂しい」とAさんに共感するように語りました。

このように、子どもたちは1年生ながらに「くらしの時間」を通して、自分のくらしている家庭環境に心をはたらかせながら自分のくらしをつくっていることに、改めて気付かされました。またそれと同時に、仲間の尊さや支え合う子どもたちのたくましさにもふれることができ、学級集団のもつパワーの大きさを実感しました。

学校・学級が、子どもたちにとって第二の家庭のような居場所となり、共に支え合いながら豊かなくらしを創造できるよう、「くらしの時間」を初めとする全ての教育活動を一層充実させていきたいと思います。



### 学校の電話応対時間について（お願い）

6月2日（月）より、教職員の勤務時間等に応じた電話応対時間の観点から、小学校の電話応対時間を次のとおり変更させていただきます。ご理解、ご協力のほど、お願いいたします。

（平日）	電話応対開始時刻	7：40	（これまでと変更なし）	電話応対終了時刻	17：40	（これまでの18：30から変更）
（長期休業中）	電話応対開始時刻	8：10		電話応対終了時刻	16：40	